

教育的価値	具 体 の 項 目	教育課程
2【かかわる】	⑨【仲間や地域の人々とのつながり】 地域の人々と関わり合うことで、そこに住む人々の命を大切にしようとする気持ちや思いやる気持ちを育て、互いに支え合う仲間の大切さや地域の方々のありがたさを実感する。	教科（生活）

【題材】 『グループわらべ』の皆さんとの昔遊び

【対象】 第1学年59名、第2学年47名

【実践の概要・詳細】

<実践の概要>      ◎…本時      ○…関連

毎年、生活科で行ってきた『グループわらべ』との交流を復興教育の視点で見直し、地域の人々とのふれあいを意識づけられるように働きかけていくこととした。

<実践の詳細>

- ・ 昔の遊びをやってみよう 【生活4】
- ・ 秋のおもちゃを作って遊ぼう 【生活7】
- 花巻清風支援学校遠野分教室の児童を招待して一緒に秋のおもちゃ遊びをしよう 【生活3】
- ・ 地域の人々と遊ぶ計画を立てよう 【生活1】
- ◎地域の人々と昔遊びをしよう 【生活1】  
 <『グループわらべ』の皆さんとの交流>
- 『グループわらべ』のみなさんに感謝の手紙を書こう 【生活1】
- ・ 全校児童への発信（復興学習交流会発表） 【学校行事1】



花巻清風支援学校遠野分教室の児童と  
楽しく遊ぶ子どもたち



昔遊びを教えてもらう子どもたち

【授業の展開】

○開会のあいさつ

○自己紹介

- ・『グループわらべ』の皆さんの自己紹介。

○昔遊び

・竹遊び、お手玉、紙風船遊びを行った。苦戦する児童もいたが、子どもたちは『グループわらべ』の皆さんに遊び方を教わり、楽しみながら昔遊びを行った。一年生は紙芝居も読んでもらった。

○感謝の言葉

- ・一緒に遊んでもらったことや、遊びを教えてもらったことへのお礼の挨拶を行った。

○閉会



竹遊びを教わる子どもたち

児童の感想

- ・大きな紙芝居を読んでくれたり、昔の遊びを教えてくれたりしてありがとうございました。3学期にも希望の里「絆」の皆さんと昔遊びをするので楽しみです。
- ・二年間昔遊びを教えてくれてありがとうございました。竹遊びが難しかったけどおもしろかったです。グループわらべのみなさんはお手玉がとても上手でびっくりしました。来年もぜひ一緒に遊びたいです。

『グループわらべ』の代表者の感想

一緒に遊んで楽しかったです。私たちもみなさんから元気をもたらすことができました。他にも本の読み聞かせなどを行っていますので、ぜひそちらの方にもいらしてください。



最後に感謝の握手を交わす子どもたち

まとめ ○成果 ●今後の学習

- 子どもたちは、地域には自分たちに色々なことを教えてくれる優しい人たちがいることに気づいていった。
- 遊びの中でふれ合ったり譲り合ったりすることで、自然と相手を思いやる気持ちを持ち、より遊びが楽しくなることを感じ取っていった。
- 子どもたちからは、楽しかった、また遊びたい、という声が多く出た。地域の人たちとの関わり合いが少なくなってきた今、このような機会はぜひ続けていきたい。
- この学習をさらに深めるために、今後仮設住宅に住む方々と一緒に昔遊びをする交流学习を計画している。